

磐梯山ジオパーク通信 Vol.9

■ 磐梯山ジオパーク通信Vol.9

4月を迎え令和8年度がスタートしました。磐梯山ジオパーク担当の運営委員の方や地域おこし協力隊の方、事務局員で異動や卒隊を迎えた方もおられ、一抹の淋しさと新しい人員でのスタートを切ることのドキドキとが入り混じる4月特有の気持ちでいます。

9月には磐梯山ジオパーク認定15周年という節目を迎えます。これからもジオパークとしての役割を果たしながら地域振興へも貢献していけるよう、ひとつひとつの事業を大切に実施していきたいと思えます。今年度も、どうぞよろしくお願い致します。

■ 磐梯山ジオパーク協議会運営委員長より『令和7年度の振り返りと令和8年度の抱負』

磐梯山ジオパークは4回目の再認定審査イヤーでした。

11月の3日間、2名の調査員（菅原さん・古川さん）をお迎えし、3町村をめぐる“ジオ旅”のような現地調査を行いました。笑いあり、真剣議論ありの濃い時間の末、無事に再認定合格。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。

学校や企業、社協などとの連携が高く評価されたことは誇らしい限りです。一方で、課題も多くいただきましたので、こちらも次の成長の糧にしたいと思います。

2025年度は新たにパワフルな認定ガイドさんも誕生し、嬉しい1年となりました。

そして今年はいよいよ磐梯山ジオパーク誕生15年目。磐梯山の恵みと脅威のもとで暮らす私たちらしいジオパークとして、足元の魅力を深掘りしつつ、日本や世界から見た価値も俯瞰しながら、磐梯山に連なる皆さんとしなやかに進んでいきたいと思えます。



磐梯山ジオパーク協議会運営委員長
文教大学 海津 ゆりえ 教授

プロフィール

理学士（立教大学）、農学博士（東京大学）。現在、文教大学国際学部教授。専門はエコツーリズム、サステナブル・ツーリズム。

■ 学べる磐梯山のホームページを引き継ぎました

福島県会津地方振興局より、学べる磐梯山のホームページを引き継ぎました。磐梯山ジオパークのホームページ右上にある緑色のタブからもサイトに移動できます。

磐梯山周辺での教育旅行に活用できる情報が分かりやすく掲載されています。



<https://manaberu.bandaisan-geo.com/>

■ 活動報告：（2月半ば～3月半ばにかけて）

● 2/21 裏磐梯雪まつりナイトファンタジー2026

裏磐梯観光協会が主催する「裏磐梯雪まつり」に磐梯山ジオパークも出展し、手のひらに乗る磐梯山ジオラマ作りや雪の重さを当てるゲームを行いました。

ジオラマ作りでは、ジオガイドの楽しい解説も交えながら思い思いのカラフルな磐梯山を作っている様子でした。雪の重さを当てるゲームでは「1816gの雪」といったお題がだされ、楽しく考えながらバケツに雪を集めていました。とても良く晴れた日で、多くの来場者で賑わいました。



● 3/8 裏磐梯ビジターセンター第19回研究発表会

裏磐梯ビジターセンターが主催する研究発表会が行われ、郡山女子短期大学部の皆さんによる「観光・避難シミュレーションの構築」に関する発表や立教大学、文教大学の学生の皆さんが共同で実施している「トレッキング客に向けた土産品開発の可能性」に関する発表など磐梯山ジオパークをテーマにした研究発表も行われました。

また、磐梯町地域おこし協力隊の田中真之協力隊による山岳信仰の調査発表では歴史の中に埋もれてしまった、磐梯～吾妻～安達太良の修験の道について沢山の写真を交えながらお話しくださいました。

活発な質疑応答がなされ、どのテーマも興味深くとても実りある一日となりました。



● 3/11 猪苗代第二小学校『3.11を忘れない集会』

猪苗代第二小学校で「3.11を忘れない集会」が開催され、磐梯山ジオパークも専門員が出席し、猪苗代町役場の方や猪苗代町社会福祉協議会の方々と協力してお話しをさせていただきました。

東日本震災から15年という時が流れ、小学生の皆さんは震災当時を知りません。今後、発生するかもしれない災害から身を守ってもらうためにも経験を語り継ぎ、災害で得た教訓を引き継いでいく事の大切さを改めて感じました。



● 3/14 仙台防災未来フォーラム2026

仙台市が主催する「仙台防災未来フォーラム」は東日本大震災からの教訓を未来の防災へつなげるため、170を超える団体が事例発表やパネル展示を行い、防災や減災などの日頃の取り組みを発信する大規模イベントです。

磐梯山ジオパークの運営委員で磐梯山噴火記念館館長の佐藤公館長が日本ジオパークネットワークの防災ワーキンググループ担当者として参加し、地震や火山について東北地域のジオパークの皆さんと一緒に実験や事例発表を行いました。



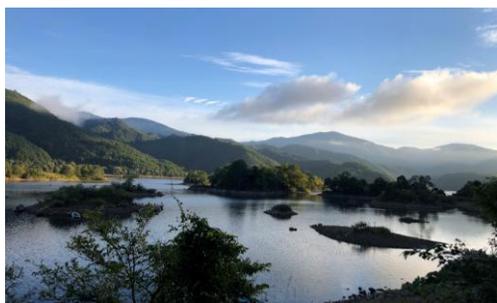
● 3/20 磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞

春分の日には磐梯町の磐梯神社で五穀豊穡と国家安全を祈願する神事が行われ、巫女舞と明神舞が奉納されました。地元の学生による磐梯明神太鼓の演奏もあり、清らかな巫女舞と力強い太鼓の音に心が洗われました。

舟引き祭りは1200年も前から続いている、五穀豊穡・無病息災・村内安全を祈願するお祭りで、米俵が積まれた木の舟を中心に東西に繋がれた縄を引き合い、その年のお米のできを占います。東が勝てば『豊作』、西が勝てば『お米の値段が上がる』とされ、今年は東の勝ちとなりました。



■ ジオサイト紹介 B裏磐梯湖沼群エリア8：秋元湖 地質・地形サイト



1888(明治21)年の噴火では、岩なだれ(岩屑なだれ)が秋元原の集落を襲い、一村が埋没しました。この岩なだれによる長瀬川のせき止めで誕生した秋元湖は、その年の10月に満水となりました。

中津川などの清流を集めた秋元湖の原風景は秋元原という集落で、明治維新の会津戦争では、会津側に参画した新選組が板垣退助率いる官軍に敗れ敗走し、ここに集結して行く末を語らったとされています。

■ 用語集

学べる磐梯山

磐梯山周辺で行われている多彩なアクティビティなどの体験を通して、子どもたちが社会と繋がり、主体的・対話的な深い学びを提供する教育活動コンテンツを造成したものです。この度、会津地方振興局より磐梯山ジオパークがサイトを引き継ぎました。

減災

未然に防ぐことが難しい自然災害による被害を最小限に抑えるため、日ごろから備える取り組みの事を減災(げんさい)といいます。

明治維新

江戸幕府が朝廷に政権を返上し、幕府にかわる明治政府という新体制ができあがった、政権が交代されるまでの激動の時代やその後の改革を含む一連の出来事を指します。

会津戦争

1868年1月の鳥羽伏見の戦いから始まった戊辰戦争と呼ばれる全国規模の内戦の中で、会津が戦場となった局面の戦いのことです。会津藩は旧幕府軍として戦い、一ヶ月籠城し砲撃に耐えましたが9月22日に開城しました。白虎隊や家老の西郷頼母一族の悲劇などで知られています。

編集後記

今回のジオパーク通信から編集後記の欄を加えました。どんな事を書けば良いのかなと悩みましたが、まずは日ごろよりご協力を頂いている関係者の皆様と、ここまで読んでくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

(編集：渡部)



磐梯山ジオパーク協議会は猪苗代町、磐梯町、北塩原村が中心となり26の民間団体と行政機関が運営に携わり活動しています。

「大地と人と自然の物語」という大地とのつながりをテーマに教育・保全・地域振興などにかかわる活動を行っています。

磐梯山ジオパーク協議会事務局

〒969-2701

福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯1093

(裏磐梯合同庁舎内)

TEL/FAX：0241-32-3180

E-メール(代表)：bandaisan.geo@gmail.com